

浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年10月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp

地域の鉄道・鉄道遺産を活かす



左は特別展「みんなの鉄道」展のポスター／上は同展の図録とコラム「地域の鉄道・鉄道遺産を活かす」

全道から資料が集結

札幌の北海道博物館は、北海道立の総合博物館です。同館ではこの夏、特別展「みんなの鉄道：がんばれ！地域の公共交通」が開催されました。当館も資料提供や図録などで協力し、また8月上旬には「鉄道に取り組む学芸員サミット」が開催されて、当館学芸員も登壇しました。

全道から集められた鉄道の歴史や地域との関わりを示す資料が多数展示されました。

「みんなの鉄道」とは？

鉄道は明治の開業以来、町と町、都市と地方を結び、人と物資の移動のために活躍してきました。食料も燃料も衣料品や生きた動物までも、鉄道が輸送の中心でした。

つまり、鉄道はみんなの生活を支えてきたもの。まさに「みんなの鉄道」であり、「地域の公共交通」なのです。本展では、鉄道が「みんなのもの」として果たしてきた役割に着目し、さまざまな角度から光があてられました。

博物館と鉄道との関わり

いつの間にか、十勝で鉄道が通る町はとて少なくなりました。その少ない町のひとつが浦幌です。そして当館は、十勝でもっとも駅に近い博物館です。特に遠方のお客様は、よく鉄道を利用してご来館になります。

その取り組みを図録でご紹介しています。図録は図書館で所蔵しており貸出も可能です。鉄道の役割を考えるきっかけに、ぜひご覧ください。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

転てつ機標識信号灯



国鉄以来の鉄道員家庭でかつては浦幌の鉄道官舎にもお住まいだった畑中哲夫さんから、鉄道関係資料を多数ご寄贈いただきました。そのうちの一品で、線路のポイントを切り替える転てつ機の方向を示す標識の、夜間用の燈火です。

いまま同種の燈火が用いられています。夜の駅構内で、ポイント付近に赤い光や青い光が見えたら、きっとこれです。探してみましょう。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

伝えたい、遺したい。北海道の土木。

その風景と歴史



その風景と歴史

◎ 草野作工株式会社

草野作工株式会社 編
2024年3月 柏籐舎発行

北海道内の様々な橋梁や河川・ダム、道路、公園などの歴史的な土木遺産や地域のシンボルである土木施設を題材に、エッセイと写真を用いて紹介されています。

エッセイは釧路市出身の桜木紫乃さんや札幌市出身の谷村志穂さん。写真家は上士幌町出身の佐々木育弥さんなど道内ゆかりの作家が多く携わっています。

土木遺産や施設は、その町の開拓の歴史が刻まれていたり、その町の暮らした日々を思い出させてくれるものです。きっと皆さんの身近にもそれらの風景と一体になった思い出が何かしら遺っているのではないのでしょうか。

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

【配架場所】

新刊コーナー/建設・土木
分類 510.92/ク



10月の博物館お知らせ

企画展

浦幌サロンコーラスのあゆみ

2024年
10月5日(土)

11月4日(月・祝)
10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール
共催:浦幌サロンコーラス

1976(昭和51)年に浦幌合唱団として発足した「うらほろサロンコーラス」は、発足50年を前に解散することとなりました。

サロンコーラスの歩みを、衣裳やプログラムから振り返ります。



博物館実習

RIKKA×博物館 シンポジウム

列車で学ぶ地理・歴史

日時:10月20日(日)
11:00~17:30
定員:20名(先着順)
参加費:750円



列車とバスで120年前開業の音別~浦幌を辿ります。
詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

不耕起栽培とビール

日時:10月5日(土) 14:00~16:00
場所:博物館2階視聴覚ホール
入場無料・申し込み不要



基調講演

不耕起栽培で人も農地も健康に

講師:金子信博(福島大学農学群特任教授)

基調報告

美味しいビールが飲みたい!

講師:鈴木将之(RIKKA合同会社 CEO)

主催:浦幌町立博物館・RIKKA合同会社
共催:浦幌町教育委員会社会教育係

町内で不耕起栽培でのオオムギ生産とビール製造に向けて取り組んでいるRIKKAと博物館が、合同でシンポジウムを開催。農と生態系やビールづくりについて議論します。

日程変更のお知らせ

秋の渡り鳥観察会は、 11月3日(日)に変更

広報うらほろで10月27日開催とお知らせしていましたが、日程が変更となりました。

10月 休館カレンダー

入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備
多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日:月曜日・祝日の翌日

10月31日(木)は月末資料整理日で休館いたします。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp